

JA三重厚生連は、医療・保健・福祉活動を通じて、組合員と地域住民の皆さまが、安心して健やかに暮らせる地域づくりに貢献していきます。

厚生連だより

Letter of JA Mie Koseiren

Vol. 80

2019. 10

広大な梅林で知られるいなべ市農業公園。地域住民にとって憩いの場となっています。



もくじ

就任のごあいさつ	2
新しいトレーニングマシーン、導入しました／新中央処置室	3
医師確保に向けた行政との取組みについて	4～5
毎年恒例！ リフレッシュ研修	5
接遇ナンバーワンの病院をめざして	6
在宅医療介護連携支援に係る研修会の開催について／ 認定看護師紹介	7
野菜たっぷり糖尿病食	8

CHECK!



JA三重厚生連の
取り組みを紹介!



就任のごあいさつ

濱口 早弓

松阪中央総合病院 看護部長



平成 31 年 4 月より、看護部長に就任しました濱口早弓と申します。看護部長の任を頂いたことを大変光栄に感じるとともに、責務の重さに身の引き締まる思いで毎日をご過ごしています。前看護部長が築き上げたもの、そして未来につなげていくものを大切にしながら、病院が目指す医療・看護の実現に向けて努力していきたいと思っております。

当院は 23 の診療科を有する急性期病院として、救急医療やがんの最先端医療に力を注いでいます。患者さんの高齢化・重症化が進む中、安全で安心な医療・看護を提供するためには、知識・技術はもとより、変化に柔軟に対応できる力が求められています。しかしどんなに知識や技術を磨いても、患者さんやご家族に寄り添う姿勢がなければ良い看護はできません。患者さんやご家族の思いに寄り添いながら、看護部の理念であるあたたかい看護の実践を大切にしていきたいと思っております。

現在、当院には看護ケアのスペシャリストである専門看護師 1 名と認定看護師 15 名が在籍しています。日々の看護ケアの中で疑問に感じたことの解決や、困っていることの相談を受けるなど、多くの役割を担い院内外で幅広く活躍しています。今年度新たに乳がん看護の認定看護師が加わり、がん看護領域すべての認定看護師がそろいました。これまで以上に患者さまやご家族に質の高い看護を提供できるよう努めてまいります。

多くの患者さまやご家族が、「中央病院にしてよかった」と言っていただけるよう、みなさまから信頼され愛される病院をこれからも目指してまいります。

本津 美穂

乳がん看護認定看護師
松阪中央総合病院 看護師



乳がんは年々増加し、女性の 11 人に 1 人が罹患する時代となりました。乳がんと診断された場合、病気と向き合い、納得のいく治療を選択し、自分らしい人生を歩んでいくことが大切です。私は、乳がん看護認定看護師として、患者さまが自分らしく過ごせるよう、共に悩み、継続的にサポートしていける存在になりたいと考えています。そして、乳がんを早期に発見できるよう、乳がん検診の普及活動にも力を入れていきます。

新しいトレーニングマシン、導入しました。

健康寿命を延長するための一助に

南島メディカルセンター 理学療法士 西世古 智之



上下肢訓練機

県内随一の高齢化率を誇る南伊勢町。町内で唯一のリハビリテーションを抱える当センターに、新しいトレーニングマシンが導入されました。

以前導入された上下肢訓練機「ニューステップ」の利用者が多く、待ち時間も長くなってきた為、より気軽に利用してもらおうと、6月にもう一台導入し、既に多くの方に利用されています。

今回導入されたアメリカ製のこのマシンは、海外でも多くの高齢者の運動をサポートし、健康寿命の延長に役買っているとの事です。また、シーートの取り外しが可能で、立ち座りが困難な方でも、椅子へ移動する事なく、車椅子に乗ったままでも利用できるという点が、大きな特徴となっています。以前導入した、「ニューステップ」と

同じく、軽い力での長時間の全身運動から、強い力での短時間の運動まで、幅広く対応した設計になっており、さらに今回のマシンは、タッチパネルの操作盤も付き、一人一人にあわせたより細かな運動メニューが簡単に設定可能です。

利用された方からは、「前の機械も良いが、この機械は、より細かく簡単に設定できて、無理なく運動をつづけられる。」「椅子への移動が難しく、今までの機械は利用したくても出来なかった。これなら車椅子に座ったままでも簡単に運動できる。」「長い時間続けてもしんどくない。気持ちが良い。」「など、良い反響を得ています。

利用された方からは、「前の機械も良いが、この機械は、より細かく簡単に設定できて、無理なく運動をつづけられる。」「椅子への移動が難しく、今までの機械は利用したくても出来なかった。これなら車椅子に座ったままでも簡単に運動できる。」「長い時間続けてもしんどくない。気持ちが良い。」「など、良い反響を得ています。



車イスでトレーニング



タッチパネルで簡単操作

新中央処置室

待ち時間が短縮され安全性も向上

鈴鹿中央総合病院 外来看護師主任 松永 真由美



採血スペース

中央処置室は、患者さんの安全と患者さんへのサービスを向上するため、旧内視鏡室を改装し令和元年5月末に移設しました。

移設前は、採血台5台のうち車いす用が1台と使用可能な台数が少なかつたため、混雑時は空いているスペースで採血を行っていました。出入り口も狭く、ベッドスペースも十分でないため、患者さんにはご迷惑をおかけしていました。

移設後は、採血場所が広くなり患者さんが安心して採血を受けていただけるようになりました。また、出入り口が広くなったことで車いすの方もスムーズに採血台まで誘導できます。車いす用採血台も2台になり、待ち時間

の短縮にもつながりました。さらに、ベッドは電動になり幅も広がったことで、患者さんには安楽に休んでいただけるようになりました。ベッド間のスペースを広くすることにより、車いす移乗も楽にでき、スタッフも処置がスムーズに行えるようになりました。

今回、新たに自己血採取用専用のスペースを確保しました。一般ベッドと離すことで、より安全に自己血採取を行うことができ、患者さんの安心にもつながっていると思います。

移設当初は、案内不足により患者さんにご迷惑をお掛けすることもありましたが、事務スタッフの協力もあり中央処置室への案内がスムーズになりました。また、患者さんからは「広く明るくなった」という言葉をいただいております。



受付窓口



ベッドスペース

医師確保に向けた行政との取組みについて ～名古屋市立大学と連携協定の締結および寄付講座の開設～

三重北医療センター いなべ総合病院 事務部長 奥田 聖貴

いなべ総合病院は、いなべ地区唯一の総合病院で市民病院の役割を担っています。

近隣の総合病院には車で1時間程度を要し、いなべ地域にとって当院は欠かせない病院です。しかし、当院の内科医師はここ数年間でピークの11名から2名にまで減少し、外来・入院・救急医療等の診療に制限をかけざるを得ない状況にあり、いなべ地区の地域医療は崩壊寸前でした。

この内科医師の減少を受け、いなべ市の日沖市長、いなべ市健康推進課と共に医師確保について協議を進めてまいりました。

日沖市長に医師確保の協力をお願いした所、大学病院への寄付講座の開設予算（年間3,000万円）を確保していただける事をご了承いただき、もとより医師の派遣を受けている名古屋市立大学との協議を開始いたしました。寄付講座の開設に向け、いなべ市と協議し「ガバメントクラウドファンディング」を用いた寄附を全国から募ることとなりました。医師確保におけるこの取組は、全国で初となり話題となりました。

3ヶ月の募集で、180人の方から374万7千円の寄附が集まり、地域の方々からも本当にたくさんの方々の

頂き、大変感謝しております。

名古屋市立大学は平成30年より、蒲郡市民病院と連携協定を締結しており、蒲郡市民病院においても医師の確保が進んだ経緯があることから、同様のスキームを利用する事となりました。大学と連携協定を締結する事で、大学との間で医師人事交流が活発となり、大学からも医師が派遣されやすくなります。

平成31年4月8日に、名古屋市立大学といなべ市、いなべ総合病院の三者にて「連携に関する協定書」の締結が実現しました。令和元年6月18日には、寄付講座「地域医療連携推進学」の協定調印式が執り行われ、新聞にも取り上げていただきました。

大学には地域医療教育研究センターが設置されており、連携協定を締結した事で、いなべ総合病院にはその分室が設置されました。そのセンターを通じて、当院分室に教員（教授）が派遣されます。

実際に、令和元年7月から寄付講座の内科教授が当院に赴任され、その流れで内科医師2名が当院に派遣されました。11月には、泌尿器科の教授が赴任予定です。

また独自に内科医師を2名確保し、現在内科医師は8名にまで増員するこ

とができ診療制限も徐々に解除しつつあります。一時は医師の負担も大きく、地域からも心配する声がかれましたが、今は先生方に笑顔が戻り病院も元気を取り戻しつつあります。

しかし、十分な医師数とは言い難く、現在医師確保の追加方策として、いなべ地区を「医師少数スポット」に指定してもう一つよう三重県医療保健部、いなべ市、三重大学と協議して進めています。「医師少数スポット」に指定された場合、地域枠の専攻医がローテーションで派遣される事となり、地域医療の活性化につながります。

当院の最も重要な役割は地域医療ではありますが、若手医師の大病院志向が進む中、当院も若手医師が学ぶ場として発展していく事が今後、医師を確保する中で非常に重要となってきました。このような背景から、9月には手術支援ロボット「ダヴィンチXi」の導入も予定しており、優秀な医師の学ぶ場としての充実が期待されています。

今日までの経過の中で、厚生連の方々と各病院の先生方、いなべ市、名古屋市立大学の方々など非常にたくさんの方々にご支援いただきました。皆様の支援が無くしては、恐らく

寄付講座の設置に関する協定締結式 令和元年6月18日



左から 名市大: 郡 学長 いなべ市: 日沖 市長 厚生連: 斎藤 前理事長

いなべ総合病院の存続は困難であったと考えています。本当にありがとございました。感謝の気持ちを医療という形で、いなべ総合病院職員一同、精一杯努力してまいります。

いなべ総合病院
クラウドファンディング
開設サイト



地域医療教育研究センターのイメージ図について



名古屋市立大学病院

「地域医療教育研究センター」

上記センターに所属する教員は三重北医療センター
いなべ総合病院にても勤務

- 人事交流
- 学生、若手医師に対する教育の場の提供
- 共同研究の実施 など



三重北医療センター いなべ総合病院

「地域医療教育研究センター分室」を設置

7月12日（金）、グリーンランドあさけでリフレッシュ研修を開催しました。リフレッシュ研修とは、孤野厚生病院の恒例行事で、院内で働く全職員が職種の垣根を越えて親睦を深めあう一大BBQイベント（研修）です。

一部の準備班はこのイベントのために1カ月以上前から奔走していました。参加人数が多いことや、急遽日程が変更になったこと、梅雨明けしておらず当日の天候が心配だったことなど、様々なトラブルと不安を抱えながらの準備でした。

そして当日。天候は曇り時々晴れ。暑くもなく雨も降らない最適な空模様でした。

さらに多くの参加者が会場の準備から片付けまで積極的に協力して頂いたおかげでスムーズな運営が行えました。

一つの目標に向かって院内全体で協力する。研修当日に得られる最も大きな成果は肉のカロリーのではなく、こういったチームワークの重要性なのだと思えます。

普段接することが少ない他部署・他職種ともチームワークを育むことができる。これぞ研修の醍醐味。この研修で得たものは、普段仕事をし

毎年恒例！リフレッシュ研修
 ～全職員参加のBBQで楽しく交歓～
 三重北医療センター 孤野厚生病院 総務課 辻川 貴哉

ていくうえで有意義なものになるに
 違いありません。



たくさんの参加者で大賑わい!!

接遇ナンバーワンの病院をめざして

院内新聞の発行により、患者・家族が求める医療サービスを追究

三重北医療センター 菟野厚生病院 看護部長 堤淳子

医療機関における『接遇』は、医療の質と同様に患者満足度を左右する大きな要素となるだけでなく、院内コミュニケーション不全による医療事故を未然に防ぐ医療安全の第一を担うツールでもあります。

当院では、患者さんに安心して選ばれる病院・満足していただける病院作りのためCS委員会は接遇の向上をめざして様々な活動を行っています。

今回はその活動内容の中から職員向け接遇新聞「CSプレミアム」(年間に4回発行予定)を紹介します。第1号を2019年7月に発行しました。記念号として、院長・事務部長・看護部長の接遇に対するメッセージ・患者満足度調査結果・ご意見箱の内容や検討課題・CSシネマなどの記事も掲載し、職員が興味を持てる内容に努めました。

「接遇ナンバーワンの病院をめざそう」をスローガンに掲げ、接遇新聞「CSプレミアム」を通じて患者・家族が求める医療サービスが提供できるよう、活発なCS活動を展開し職員の接遇意識の向上を図ってきました。ご活用ください。

CS Premium

VOL.1

2019.7.3

三重北医療センター 菟野厚生病院 接遇委員会 発行

『キラリと光る医療を提供し、地域の皆さまから愛され信頼され選ばれる病院をめざして職員一同努めてまいります。』

当院の理念を追求するためにCS(接遇)も重要な役割を担っています。全職員でプレミアムな接遇を目指しましょう!

☆発行記念特集☆



加藤看護部長

医療は「サービス業」としてとられてくれています。私たちが「商品」のない「無形サービス」を提供しています。この目に見えないサービスは、当院を利用される方々が安心・安全な医療を受けていただくよう「付加価値」を高めることにあります。看護としての気づきを高めるようみんなで努力していただきたいと思っています。



小嶋病院長

患者様が病院を選ぶ時代を迎え、医療機関では患者様の満足向上が重要な課題になっていきます。これにて以上に患者様と良好なコミュニケーションを図るために、接遇委員会を活用していただきたいと思います。



岩名事務部長

接遇は一方通行ではなく、互いに同じようにつながりながら成長します。明るく働きやすい職場を目指して「接遇からはじめよう こもの運動」をみんなで始めましょう。

こころよく、もてなす気持ちで、のびらかに

※「伸のひらか」という形容詞には、自然でわざとらしくないという意味があります。

～ 2019年度 患者満足度調査の結果 ～

【接遇アンケート調査】 【改善点アンケート】

2019年度	2018年度
医師 27.0%	医師の対応 52.0%
看護師 26.6%	診察待ち時間の改善 50.0%
コメディカル 18.8%	待合室の改善 5.0%
事務員 12.2%	ガラスへの設置 3.1%
薬剤師 11.2%	医師説明の充実 3.1%
生体管 4.1%	院内の喫煙禁止の改善 2.0%
	医務の対応改善 1.2%

2019/5/10 に実施された患者満足度調査において、上記のような結果が得られました。2019年度は、466名(対前年+139名)の患者さまにご協力頂きました。それぞれのアンケート結果を真摯に受け止め、今後の糧とし、愛され信頼される職員を目指し各自接遇の意識をより一層高め菟野厚生病院を益々盛り上げていきましょう。また、施設面における改善点については管理部門と協議してまいります。

～ 2019年度 CS活動状況報告 ～

2019年度 CSスローガン 『 **凡事徹底** 』

※何でもよいような当たり前のことを徹底的に行うこと、または、当たり前のことを極めて他人の追随を許さないことなど

2019年5月10日(金) 患者満足度調査実施
2019年6月より接遇リーダー研修開始(年7回)
※基礎知識と接遇向上へのスキルを学び、実践を通じて接遇リーダーを養成することを目的としています。

2019年6月12日(水) 第1回 接遇リーダー研修開催(当院からの参加者3名)

2019年6月より接遇ラウンド開始
2019年6月29日(土) 接遇研修実施(24名参加)

～ ご意見箱 ～

	4月	5月	6月
お褒めの言葉	2件	1件	3件
ご意見・ご要望	2件	5件	1件

【お褒めの言葉(抜粋)】

- 患者さんの多いのにびっくりしています。受付の方の笑顔印象的で来て良かったと思っています。
- せんせいやさしかった。

【ご意見・ご要望(抜粋)】

- そうじの人がゴム手袋したままエレベーターのボタンを押していました。きたないです。
- 4階のテレビが車いすからみにくい

ビューティーコラム

～夏の旬のスイカの効能～



- ・**ビタミンC**: 美肌効果
- ・**カリウム**: むくみ効果
- ・**リコピン**: 抗酸化作用
- ・**シトルリン**: 日焼け予防むくみ改善 & 美肌 & 美白に加え、100gあたり37k calとダイエットにも効果がある素晴らしい食べ物です!!

CSシネマ

THE GUILTY ギルティ (2018年 デンマーク)

救急通報指令室のオペレーターが、電話からの声と音だけで誘拐事件の解決に挑むサスペンススリラー。

普段の業務で欠かせない電話が重要な意味を持つ本作ですが、人間が聴覚から得られる情報はわずか11%程度、しかも音声というのは同じものを聞いても、人それぞれ思い浮かべる人物像は異なるそうです。その差は思い込みによって生じます。誰もが持つ他者への偏見と先入観、その危うさを指摘する意外な真相に驚愕必至。電話対応の難しさに背筋が凍る傑作です。



職員向け接遇新聞「CSプレミアム」記念すべき第1号

在宅医療介護連携支援に係る研修会の開催について

～研修を通じて交流と理解を深める～

大台厚生病院 社会福祉士 生駒 好司



司会進行者

「奥伊勢在宅医療介護連携支援相談窓口」を大台厚生病院地域連携室内に開設して1年半が過ぎました。大紀町、大台町から、「切れない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進」「医療、介護関係者の情報共有の支援」「在宅医療・介護連携に関する相談支援」「医療・介護関係者の研修」の4項目を委託事業として受けています。

今年度の研修事業においては「本人が望む生活を行く為に考えられる、医療と介護の連携について」をテーマに研修を行っております。第1回は7月18日に開催し、医療職、介護職合わせて44名の参加がありました。

大紀町、大台町は人口減少し高齢化が進んでいる地域であります。それでも在宅で安心して生活ができる環境を整え、地域包括ケアシステ

ムを構築するにはどのような事が必要か、多職種でのグループワークを通して学んでいただきました。自分が住み、働いている地域を自分達で守る為、各専門職からの様々な意見を聞くことができ、大変有意義な研修会となりました。また、多職種の方々と直接顔を合わせる事で、さらに医療、介護の連携が取りやすくなってきていると実感しています。

今後、医療と介護の連携をテーマにした研修会をシリーズとして開催していく予定にしております。病院内に設置された奥伊勢相談窓口として特色ある研修会を続けていけるよう取り組み、研修会に参加された方が、学んだ事を地域で活用される様に努めていきたいと思います。



グループワーク



研修内容

認定看護師紹介

～企業メンタルヘルスケアへの取り組み～

鈴鹿厚生病院 精神科認定看護師 倉田 隆明

「実は、半年ほど前から眠れないんです…」40代の男性が、秘密を打ち明けるように話し始めた。これは、2015年12月1日に施行された、改正労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度で高ストレス者と判定を受け、申し出を行った、対象者との面談の一場面です。

2011年厚生労働省は、「4大疾病」と位置付けて重点的に対策に取り組んできた、がん、脳卒中、心臓病、糖尿病に、新たに精神疾患を加えて「5大疾病」としました。前後して、2006年には、年々増加する精神疾患の患者への対策として、労働安全衛生法に基づき「労働者の心の健康の保持増進のための指針」が公示されました。ストレスの原因となる要因は、仕事や職業生活、家庭、地域に存在しているとして、自らがそれに気づき対処することが必要であると述べられています。しかし、職場に存在するストレス要因は、労働者自身の力だけでは取り除くことができないものもあることから、労働者の心の健康づくりを推進していくためには、事業者によるメンタルヘルスケアの積極的推進が重要であると公示されています。

市内にある従業員300人を超えるものづくり企業へ出向き、企業のメンタルヘルスケアに取り組んでいます。この企業では、ストレスチェック制度が始まる前から、職場のメンタルヘルスの重要性を認識していました。年度初めに安全衛生管理者を中心として、企業内でのメンタルヘルス対策を話し合います。近年では概ね、管理者へのメンタルヘルス講話、新入社員との面談、昇進や他工場からの転勤者との面談、また、先に述べたような高ストレス者と判定を受け申し出を行った従業員との面談を行っています。これらのメンタルヘルス対策で管理者には、メンタルヘルス不調者の早期発見早期対処方法や管理者自らのストレス対処方法を話し合います。また、不調者との面談を通して、職場のメンタルヘルスにおけるシステム改善を提案することもあります。

産業や職性、企業風土などによってメンタルヘルス対策はさまざまですが、「こころの健康づくり」が如何に重要かを発信していきたいと思えます。

企業メンタルヘルス講話の一場面



企業メンタルヘルス講話の一場面

治療食紹介

野菜たっぷり糖病食

大台厚生病院 管理栄養士主任 川合美幸

当院の入院患者様のお食事は、どの食種もカロリーや栄養バランスを考へ献立を立てています。が、とりわけ糖尿病食は、野菜をしっかりと摂れる献立としています。1日1600キロカロリーの当院のある日の夕食をご紹介します。

栄養量

1食あたり530キロカロリー
 ・蛋白質 23g ・脂質 11g
 ・糖質 260g ・塩分 6.8g

- ◆米飯…170g
- ◆手作りロールキャベツ
- ◆えびと青梗菜の卵とじ
- ◆いんげんゴマ和え
- ◆オレソジ

見た目にもボリューム満点！手作りロールキャベツの作り方を紹介します。

【材料】(作りやすい分量：4人分)

- キャベツの葉…大きめ4枚
- 合挽ミンチ…250g
- 玉ねぎ…1/2個
- パン粉…大さじ4
- 小麦粉…30g
- 卵…1/2個

作り方

- ①キャベツは1分ほど茹でてザルにあげ冷まし、巻きやすいよう芯をそいでおく
 - ②玉ねぎはみじん切りにしてテフロン加工のフライパンで炒め、冷ましておく
 - ③合挽肉、パン粉、卵と②を合わせよく混ぜ、4等分にする
 - ④③を4等分して①できつちり包む
 - ⑤巻き終わりを下にして、鍋にすき間なく並べる。すき間ができるようなら残りのキャベツ(分量外)やお好みの野菜、キノコ類を入れすき間をなくす
 - ⑥Aを混ぜ合わせたものを鍋に加え、火にかけてアクが出てきたら取る。コトコト煮込み、完成。
- ★ロールキャベツをコンソメと水だけで煮て、Aのコンソメ以外の材料をソースとして最後にかけても美味しいです。

- A
- 固形コンソメ…1/2個
 - ケチャップ…大さじ1
 - 砂糖…小さじ1
 - しょうゆ…小さじ1と1/2
 - ウスターソース…小さじ1
 - 水…300ml



【糖尿病食について】

糖尿病食の基本は、適正なカロリーでバランスの良い食事を継続することが大事です。具体的には…

- ①主食(ご飯・パン・めん類など)は適量を守り食べ過ぎないようにしましょう
- ②野菜のメニューを増やし、野菜からゆつくりよく噛んで食べましょう。満腹感が得られ、食べ過ぎを防ぐことができます
- ③塩分やたんぱく質のとりすぎにつながるため、おかずの摂りすぎに注意しましょう
- ④合併症を防ぐために塩分は控えめにしましょう

※腎疾患がある、血液中のカリウム値が高いなどの場合は、上記にあてはまらない場合があります。

JA三重厚生連

人に 地域に やさしい看護

薬剤師 看護師 助産師 看護補助員 介護福祉士 募集



厚生連だより Vol.80

2019.10 発行

発行/三重県津市栄町1丁目960番地

三重県厚生農業協同組合連合会

TEL 059-229-9191 FAX 059-224-4354

http://www.miekosei.or.jp/ E-mail:info@miekosei.or.jp